**＜10回目のお話＞　聖霊の実**

◆**代表者による祈り**

◆**分かち合い**

自分にイエス様のような姿が見えると褒められたことがありますか。自分は現在どのような人であり、どのような人になりたいと願っていますか。

◆**御言葉を開いてみましょう**

ガラテヤ5:22-23

◆**御言葉を知る**

聖霊の実は、本物のクリスチャンが備える徳目です。聖霊の実をしっかりと理解し、これらを人生の中で結ぼうと努力するとき、私たちは神様にとってもっと美しいクリスチャンとして立てられることとなります。

**1．聖霊の実の意味**

私たちが聖霊に満たされて全人格を聖霊様に明け渡せば、聖霊様は私たちを通してイエス様の品性を示されるのですが、これを聖霊の実と言います。つまり、聖霊の実は、聖霊様が人間の中で生き生きと働かれることで表れるイエス様の人格です。

聖霊の実は聖徒の信仰状態を表す尺度です。聖霊の実が人生において結ばれるか否かで、その人が信仰の中で正しい道を行っているか、そうでないかがわかります。聖霊で満たされ、御言葉の上に堅く立った聖徒は、必ず聖霊の実を結びます。

聖霊の実とは、文字通り「実」です。だから長い時間聖霊様とともに歩みながら信仰の中で成長していくとき、聖霊の実も徐々に熟していきます。祈りと御言葉の中で忍耐を重ね、イエス様の品性に似て行くために頑張って下さい。そうするとき、多くの人々に良い影響力を及ぼす、神の人として立てられることになります。

**2．聖霊の実を結ぶ**

私たちが聖霊の実を結ぶとき、イエス様の品性が表れます。ガラテヤ5章22-23節は、聖霊の実として表れるイエス様の品性を、次の九つで説明しています。

1. **愛**：聖霊の実は愛として表れます。聖霊の実としての愛は、全人類のためにご自分を捨てられたイエス様の愛であり、人間の愛よりも素晴らしい愛です。聖霊の実として表れる愛は自己犠牲的で、何も対価を求めず、仕えられるのではなく仕える愛です。聖霊の実を結ぶ聖徒は、このような愛をもって全力で神様を愛し、隣人を自分自身のように愛します。
2. **喜び**：聖霊の実として表れる喜びは、世の中がくれる喜びとは区別される、神様の中で味わう喜びです。神様の中で味わう喜びとは、救われて神の子どもになったという事実による喜びであり、神様に栄光を帰しながら生きられることに対する喜びであり、さらにはイエス・キリストが再び来られるときに大胆に迎えることができるという事実に対する喜びです。聖霊が下さる喜びで満たされている聖徒は、すべてのことを働かせて益としてくださる神様を信頼し、どんな状況でも感謝し、喜ぶことができます。
3. **平安**：聖霊の実として表れる平安は、イエス様の十字架を通して回復された神様と人間の関係を基盤にします。ですから平安で満たされた聖徒は、神様と常に平安を持ち、これとともに隣人とも良い関係を保ちます。平安の実を結ぶ聖徒は自分の考えを実現することに集中しません。代わりに共同体の平安のために自分の主張を譲ったり、これを通して神様が栄光を受けられるという事実に喜びます。
4. **寛容**：聖霊の実は寛容として表れます。ところが聖霊の実としての寛容は、良き神様を信じる信仰の中での寛容です。だから寛容の実を結ぶ人は、患難と逆境の中でも怒ることをせず、復讐心を持たず、すべてを働かせて益としてくださる良き神様を信じ、忍耐します。神様は寛容な者に霊的成長の祝福を与えられ、天国に着いたときには「よくやった」と褒めて下さいます。
5. **親切**：聖霊の実は親切として表れます。親切は、他人の咎と罪を非難するよりも、愛の心で理解する態度を意味します。ですから親切の実を結ぶ人は、他人の過ちを見るよりも、その人がなぜそのような行動を取ったかをまず考えます。そして、その人のために祈り、その人が正しい道を行けるように優しく勧めます。イエス様は私たちを罪に定めず、十字架を背負うほどに愛されましたから、親切の本当の模範となられます。
6. **善意**：聖霊の実は善良な心を意味する善意として表れます。善意は親切と似ていますが、親切が態度や品性に重きが置かれているとすれば、善意は直接的な行為に重きが置かれています。

だから善意でいっぱいの聖徒は隣人に実質的な助けを与えて愛を示します。つまり、行いのある信仰を示すんです（ヤコブ2:17）。そして善意を実践する聖徒は、へりくだって、ひそかに施しを行なわなければなりません。

1. **誠実**：聖霊の実は誠実として表れます。誠実とは変わらない心を意味し、誠実の実で満たされた聖徒は、神様との関係のみでなく、隣人との関係においても誠実で一途です。誠実の実を結ぶ聖徒は主日を必ず守り、偽りを述べず、信仰と行いが一致します。さらに、誠実の実を結ぶ聖徒は不平不満を述べず、どんなことであっても任されたことによく従います。
2. **柔和**：聖霊の実は柔和として表れます。柔和とは、イエス様のように全ての人を赦し、受け入れる心を指します。柔和は一瞬でなされるものではなく、根気強い信仰生活を通して育てられて現われます。ですから柔和の実を結ぼうとする人は、絶え間なくイエス様に似るために力を尽くさなければなりません。さらに、柔和な人は全ての人を愛で受け入れるけれども、罪と妥協することはありません。神様は柔和の実を結ぶ者が地を受け継ぐことを約束されました（マタイ5:5）。
3. **自制**：聖霊の実は自制として表れます。自制とは自分を統制できる力を意味し、自制の実を結ぶ人は全ての事を行なうにおいて線を越えない方法を知っています。ですから自制の実を結ぶ人は情熱的でありつつも落ち着いて奉仕をし、愛で隣人に接しながらも真理の中で勧めます。さらには、肉の情欲と舌を統制することができます。自制によって心の中心を守るのが、成熟した信仰者の姿です。

◆**祈り及びとりなしの祈り**

1．聖霊に満たされて、イエス様の品性を表せるように祈りましょう。

2．聖霊の実を結ぶことで、私たちを通して、信じない魂がイエス様を知るようになることを祈りましょう。

3．隣の人と祈りの課題を分かち合い、ともに祈りましょう。

以上の内容はヨイド純福音教会区域礼拝テキストから抜粋、追加、翻訳、再構成したものです。